

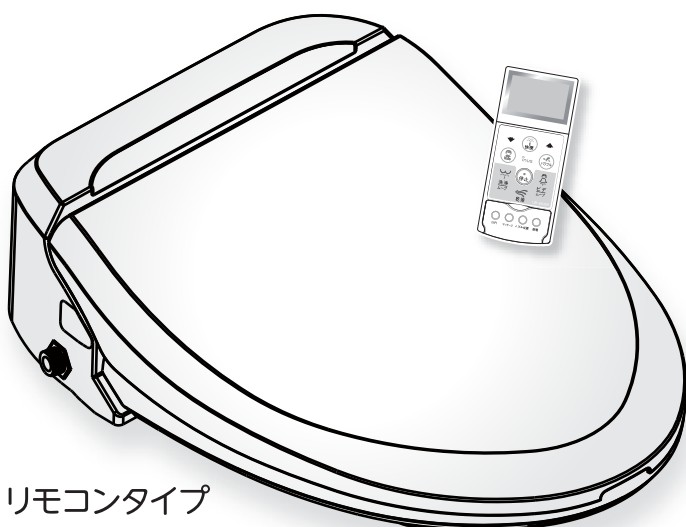
inUS

取扱説明書 [保証書付き]

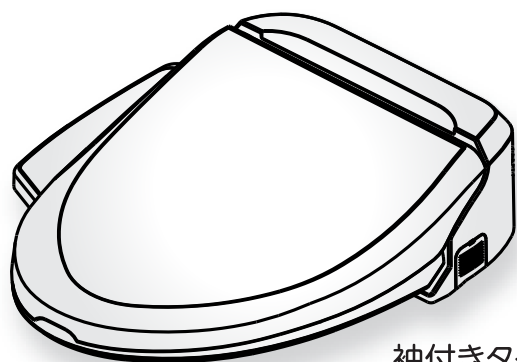
温水洗浄便座 家庭用

リモコンタイプ
UB-6035R
UB-6020R

袖付タイプ
UB-5225
UB-5210



リモコンタイプ



袖付きタイプ

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ▶ 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ▶ 添付の保証書は必ず「ご購入日・お取扱店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。記入がない場合は無効となります。
- ▶ ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

もくじ

ご使用前に

ページ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	4
リモコンのはたらき	5
操作パネルのはたらき	6

取り付け方

取り付け手順	7
--------	---

使い方

便座を使う(洗う・温風乾燥・止める)	13
各機能の調整をする	14
その他のはたらき	16
節電モードを設定する	17
お手入れ方法	18
日常点検	21
定期点検	22
凍結防止について	23

困ったとき

故障かな?と思ったら	25
仕様	26
重大事故防止のためのお願い	27
アフターサービスについて	29

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした際に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 は、してはいけない「禁止」の内容です。	 一般的な禁止  火気禁止	 水濡れ禁止  分解禁止	 濡れ手禁止
 は、必ずしていただく「強制」の内容です。	 必ず実行	 アース線接続	

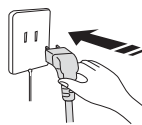
⚠ 警告



アース線
接続

アース工事がされていることを確認する

- 故障や感電の原因になります。
- アースの取り付けは、必ずお買い求めの取扱店・販売店、または電気工事店に相談してください。



水濡れ禁止

便座本体・電源プラグに水や洗剤をかけない

- 火災や感電の原因になります。



水濡れ禁止

浴室・シャワー室など湿気の多い場所に設置しない

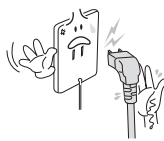
- 火災や感電の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

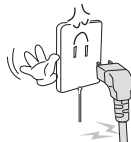
- 感電やけがをすることがあります。



禁止

電源コードが傷んでいたら使用しない

- 感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは、電源プラグにふれない

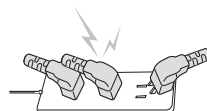
- 感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

- たこ足配線で定格を超えると、発熱や発火の原因になります。



警告



禁止

指定する電源(交流100V)以外では使用しない

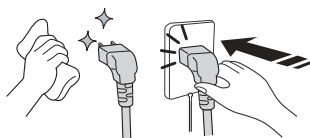
- 火災の原因になります。



必ず実行

電源プラグの刃などについたほこりは定期的に取り除き、コンセントの奥までしっかり差し込む

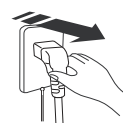
- 感電、ショート、発煙、発火の原因になります。



必ず実行

お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造を絶対に行わない

- 火災や感電、けがの原因になります。



禁止

故障したままで使用しない

- 次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。
<故障とは> ・ 配管や製品から水漏れしている
・ 配管にひびや割れが生じている
・ 異音、異臭が生じている
・ 製品が異常に熱い
・ 製品から煙がでている
- 故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。



禁止

車輦・船舶など、移動体への設置はしない

- 火災や感電、故障の原因になります。
- 温水洗浄便座本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



必ず実行

低温やけどに注意する

- 比較的低い温度で、皮膚の同じ部分に長時間触れていると、低温やけどをするおそれがあります。
- 次の方が使用するときには、便座温度を「切」にしてください。
 - ・ お子様、お年寄り、病気の方、自分で温度調整ができない方
 - ・ 皮膚の感覚の弱い方、眠気を誘う薬（睡眠薬・かぜ薬など）を服用された方
 - ・ 深酒をされた方、疲労の激しい方
- ※ 万が一、低温やけどをされたときは、直ちに専門医の診断をうけてください。



禁止

水道水以外は接続しない

- 中水道や工業用水、井戸水は使用しないでください。
皮膚の炎症を起こしたり、機械内部の腐食による感電や火災の原因になります。



必ず実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師に相談する

- 身体への著しい障害をまねくおそれがあります。

⚠️ 注意



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。



禁止

お手入れの際はうすめた台所用中性洗剤を使用する

- 次のようなものは使用しないでください
シンナー・ベンジン・トイレ用洗剤・住宅用洗剤・トイレ用お掃除シート
・殺虫剤・芳香剤・消臭剤・クレンザー及びナイロンたわし など
便座などがひび割れし、けがの原因になります。
また、皮膚が炎症するおそれがあります。



禁止

便座・便ふたの上に乗らない、重いものを載せない

- 衝撃を受けると破損や故障、けがの原因になります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 漏水の原因になります。



必ず実行

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

- 安全のために電源プラグを抜いておいてください。



必ず実行

凍結による破損の予防を行う

- 凍結すると本体内部が破損し、漏水の原因になります。
- 暖房器具などを使用してトイレ室内を暖めてください。



禁止

便ふたや操作部に寄りかからない

- 故障や破損の原因になります。



禁止

便座カバーを取り付けない

- 着座センサーが誤作動し、正常に動作しないおそれがあります。



禁止

本体やノズルに小便をかけない

- 故障の原因になります。



必ず実行

便座や便ふたを無理に閉めたり、同時に閉めない

- 内部部品の干渉により、便座ゴム足(軟質樹脂製クッション部)が破損するおそれがあります。
- 便座と便ふたの開閉時に指をはさむおそれがあります。



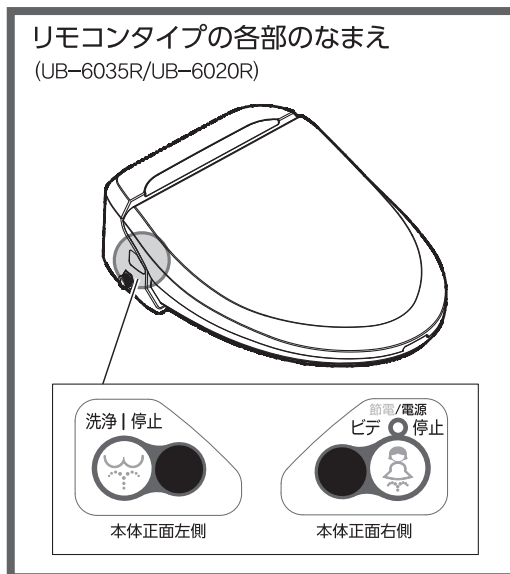
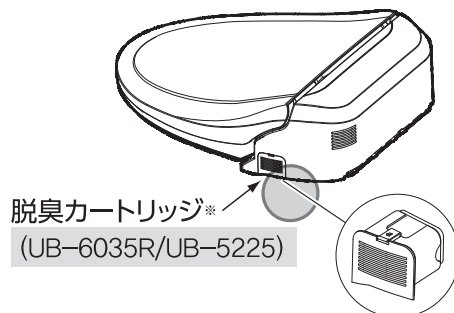
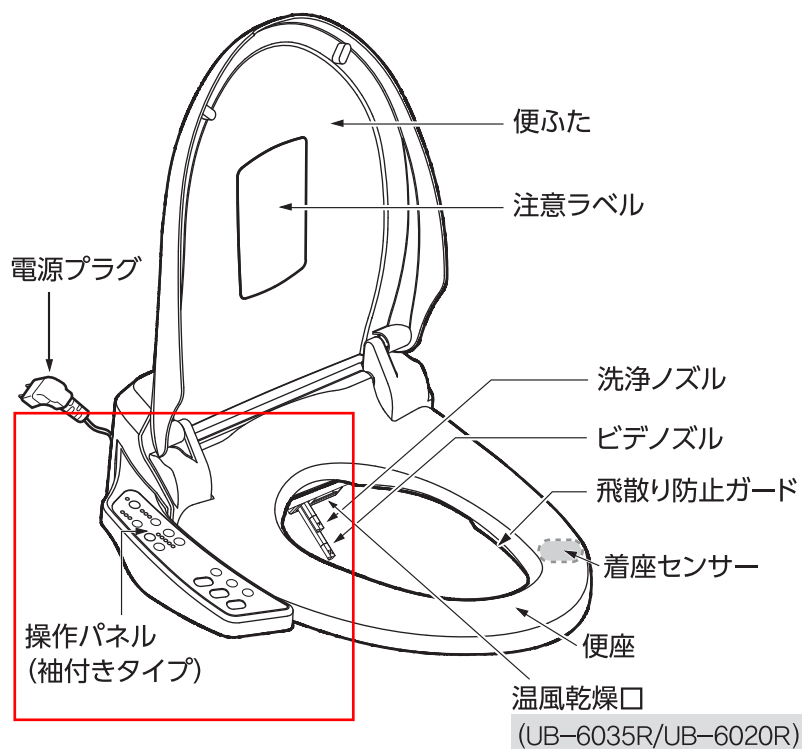
禁止

清掃時は「キッズ洗浄ボタン」を押さない

- キッズ洗浄は着座センサーにかかわらず作動するため、清掃時に誤って「キッズ洗浄ボタン」を押すと洗浄ノズルから洗浄水が吐出し、水漏れの原因になります。

各部のなまえ

本体



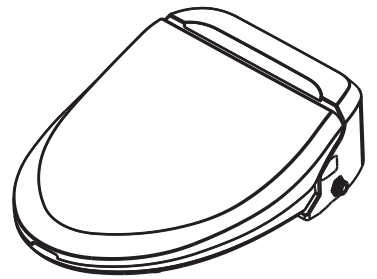
付属品

本製品には下記の部品が付属しています。
部品を紛失した場合や、別途お買い求めの際は、販売店にご連絡ください。

<p>固定ボルト(2本) ゴムパッキン(2個) スリップワッシャー(2個) 固定ナット(2個)</p>	<p>分岐金具 1個 (パッキン内蔵)</p>	<p>給水ホース(1m) 1本 フレキホース(0.5m) 1本</p>
<p>ベースプレート 1個</p>	<p>リモコンタイプのみ (UB-6035R/UB-6020R)</p> <p>リモコン本体 1個 リモコンホルダー 1個 単4形乾電池 3本* 木ねじ 2本 プラスチックアンカー 2本</p>	

*乾電池・脱臭カートリッジは消耗部品です。保証期間中でも有料となります。

リモコンのはたらき



対象 リモコンタイプ

UB-6035R
UB-6020R

快便

高圧の水勢でマッサージすることで便意が感じられます。

Kids 洗浄ボタン

子供の体型に合わせた最適な洗浄をします。

洗浄(おしり)ボタン

おしりの洗浄をします。もう一度押すとムーブ洗浄に切り替わります。

乾燥ボタン

温風で乾燥します。

自動洗浄ボタン

自動的に最適な洗浄をします。

マッサージ洗浄ボタン

洗浄時に、強弱のリズミカルなシャワーで洗浄します。

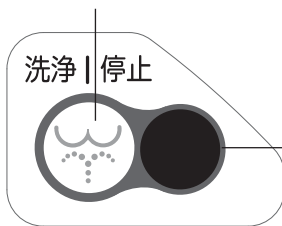
便座温度調整ボタン

暖房便座の温度を調整します。

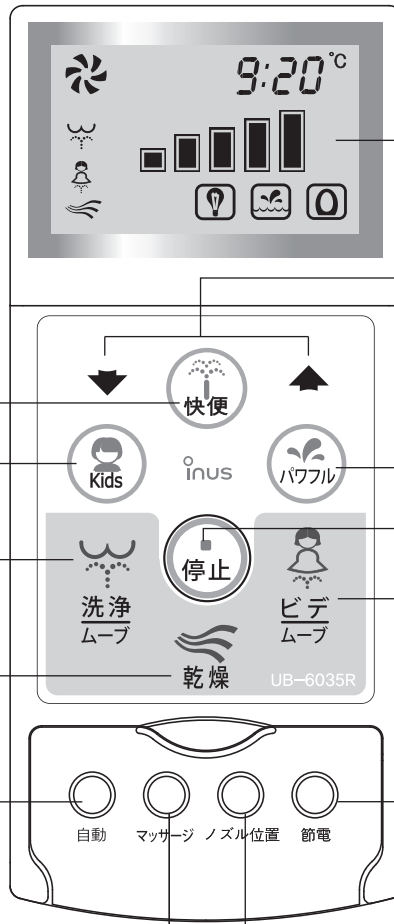
温水温度調整ボタン

温水の温度を調整します。

おしり洗浄ボタン (着座時)



本体正面左側



液晶表示部

調整ボタン

パワフル

洗浄・ビデ動作時に空気が吹き込まれて一般洗浄より柔らかくて強く洗浄します。

停止ボタン

ビデ洗浄ボタン

ビデの洗浄をします。もう一度押すとムーブ洗浄に切り替わります。

節電モードボタン

ノズル位置調整ボタン

ノズルの位置を調整します。

ノズル掃除ボタン

ノズルのお手入れ時に使用します。

時計合わせボタン

動作ランプ

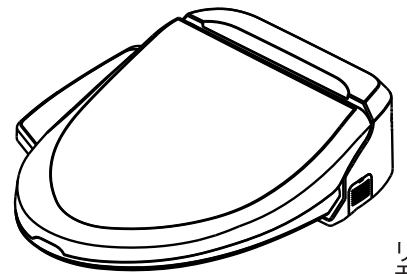
節電・電源/
ビデ洗浄ボタン
(着座時)



本体正面右側

リモコン受信部

操作パネルのはたらき



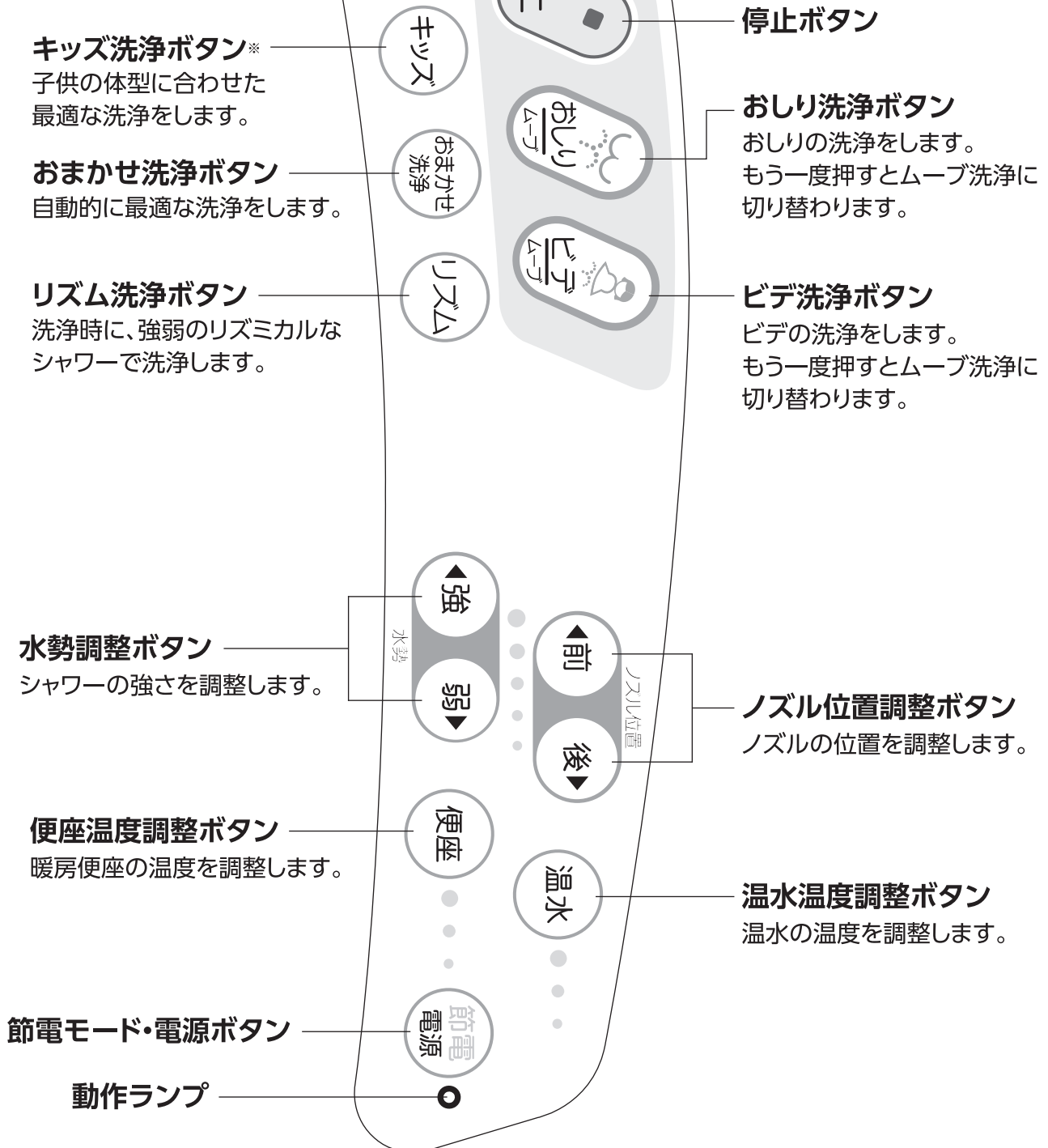
リモコンのはたらき

操作パネルのはたらき

対象 袖付きタイプ

UB-5225

UB-5210



※キッズ洗浄は着座センサーにかかわらず作動するため、清掃時に誤って「キッズ洗浄ボタン」を押すと洗浄ノズルから洗浄水が吐出するのでご注意ください。誤って押した場合はただちに「停止ボタン」を押してください。

取り付け手順

⚠️ 注意



電源プラグは取り付けが完了するまでは、コンセントに差し込まないでください。

禁止

- 故障の原因になります。

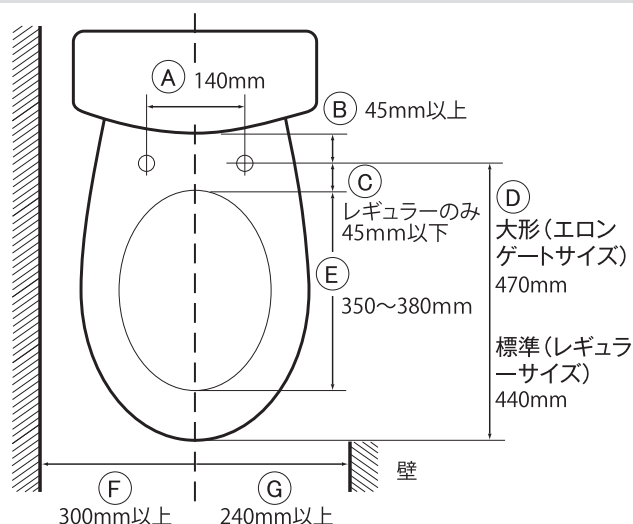
取り付け前の確認

1 便器サイズの確認

- 取り付ける便器の寸法を確認します。

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ Ⓕ Ⓖ の必要寸法があるか確認してください。必要寸法がないと、便座本体を取り付けることができません。

標準（レギュラーサイズ）の便器に取り付ける場合、便座の先端が“便器の先端”よりも多少出っ張ったり、便器のフチが見える場合があります。

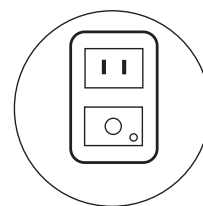


2 止水栓の確認

- 止水栓が付いているか確認してください。
止水栓が付いていない場合やフラッシュバルブ式の場合は別途工事が必要となりますので、専門業者にご依頼ください。

3 アース端子の確認

- コンセントにアース端子が付いているか確認してください。
アース端子がない場合は、電気工事店へご相談ください。
※アース線を取り付けないと、故障や漏電の際に感電するおそれがありますので、必ずアースを取り付けてください。



4 給水について

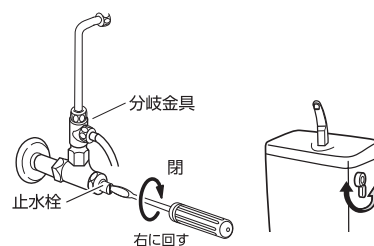
- 使用水は必ず水道水（上水道）を使用してください。

使用可能水道圧範囲は、0.078Mpa（流動圧）～0.735MPa（静水圧）です。0.077MPa以下の水圧では、水勢調節幅が狭くなったり、使用できない（正常に動作しない）場合があります。

取り付け方法

1 止水栓を閉める

- ① マイナスドライバーなどで止水栓を右に回し、給水を止めてください。
- ② ロータンクの洗浄レバーを回して、水が流れないことを確認してください。



2 現在ご使用の便座を取り外す

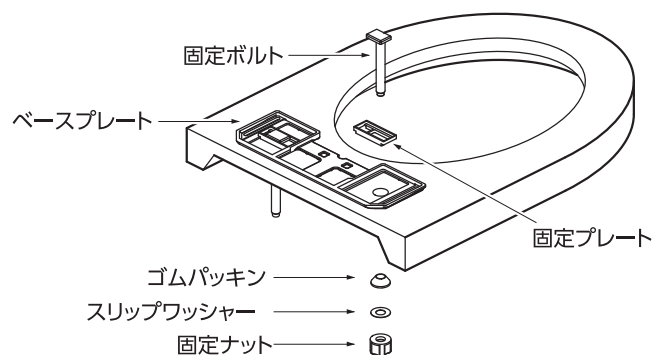
- ① 便座を固定しているナットをモンキーレンチなどの工具を使って取り外します。
ナットがゆるまないときは、市販の潤滑スプレーなどをご使用ください。
- ② 便座を取り外します。
※取り外した便座や部品は転居時や譲渡などの際に必要となりますので、紛失しないようご注意ください。
※現在ご使用の温水洗浄便座から、新たに本製品に取り替える場合は、ご使用の製品の取扱説明書に従って温水洗浄便座を取り外してください。

3 給水ホースの取り付け [給水ホース接続部⇄給水ホース]

- ① 便座本体の給水ホース接続部に、給水ホース（付属品）を手で回して接続してください。
- ② スパナやモンキーレンチなどの工具を使い、本締めをして取り付けてください。

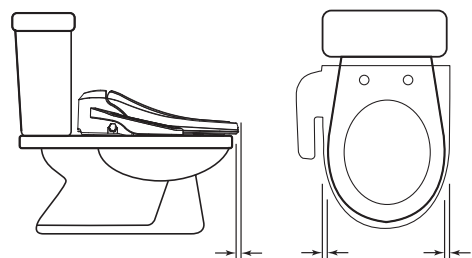
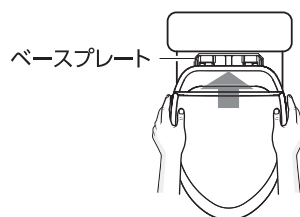
4 ベースプレートの取り付け

- ① 固定ボルトに取り付けているゴムパッキン、スリップワッシャー、固定ナットを取り外してください。
- ② 固定ボルトに固定プレートを通し、ベースプレートと便器の穴に差し込みます。
- ③ 固定ボルトにゴムパッキン、スリップワッシャーを通し、固定ナットを取り付け仮締めします。
※本締めは、便座本体を取り付けてから行います。



5 便座本体の取り付け

- ① 便座本体とベースプレートの位置を合わせて、ベースプレートの奥まで確実に押し込みます。便座本体を手前に引き、固定されたか確認してください。
※電源コードを便座本体と便器の間に挟み込まないようにしてください。
- ② 便器と便座本体の位置を右図のように調整してから、固定ナットを本締めします。
※ナットの締め付けは手締めで十分です。
樹脂ボルトのため締めすぎによる破損に注意してください。
- ③ 便座本体を取り付けた後、本体を軽く持ち上げ、しっかり固定されているか確認してください。

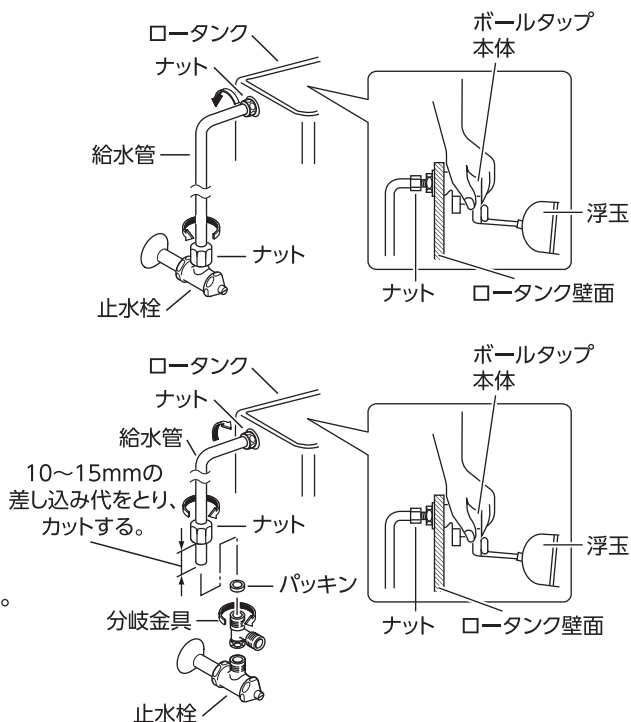


長年使用すると固定ボルトがゆるんでくる場合があります。その際は固定ボルトを締め直してください。

6 分岐金具の取り付け

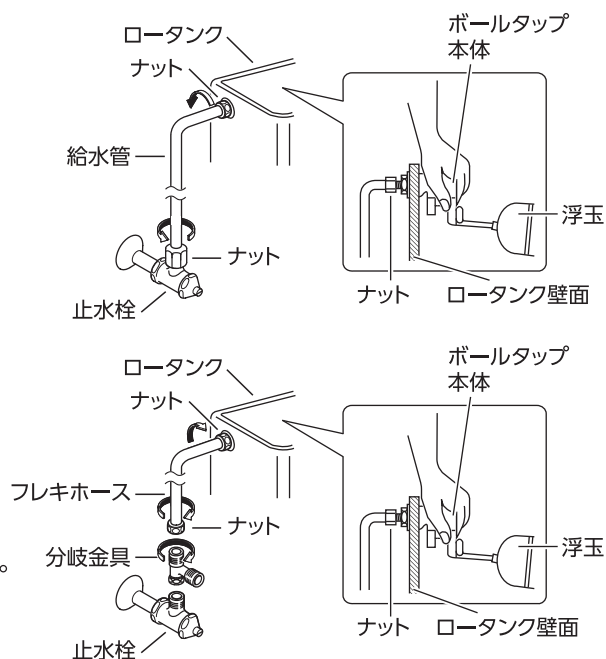
既設の給水管を使用する場合

- ◎モンキーレンチやスパナなどの工具を使用してしっかりと締め付けてください。漏水のおそれがあります。
- ①ロータンクの上ふたをはずしてください。
- ②ナットを回して止水栓から給水管を外してください。
※給水管などに水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いて水を受けてください。
- ③ナットを回してロータンクから給水管を外してください。
※この時、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。
- ④分岐金具(付属品)のナットを回して止水栓に取り付けてください。
- ⑤分岐金具に給水管を接続し、ロータンク給水口に合う長さに給水管を切断してください。
※給水管の差し込み代を10~15mm程度確保してください。
- ⑥ナットを回して給水管をロータンク側に取り付けてください。
※この時、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。
- ⑦ロータンクの上ふたを元にもどしてください。



フレキホースを使用する場合 (UB-6035R/UB-6020R/UB-5225/UB-5210)

- ◎モンキーレンチやスパナなどの工具を使用してしっかりと締め付けてください。漏水のおそれがあります。
- ①ロータンクの上ふたをはずしてください。
- ②ナットを回して止水栓から給水管を外してください。
※給水管などに水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いて水を受けてください。
- ③ナットを回してロータンクから給水管を外してください。
※この時、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。
- ④分岐金具(付属品)のナットを回して止水栓に取り付けてください。
- ⑤フレキホース(付属品)のナットを回して分岐金具に取り付けてください。
※もし本製品の付属品以外の給水管を使用される場合は、必ず給水管にパッキンが付いていることを確認してください。
- ⑥フレキホース(付属品)のナットを回してロータンク側に取り付けてください。
※この時、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにボールタップ本体の根元をしっかりと握って行ってください。
- ⑦ロータンクの上ふたを元にもどしてください。



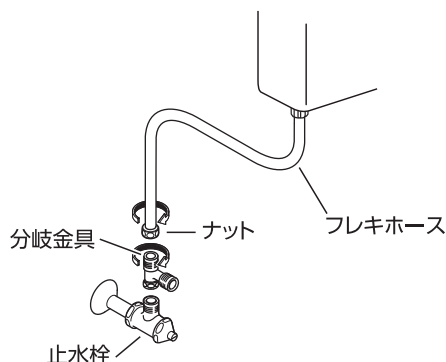
給水管の取り外しや取り付け時にボールタップ接続ねじ部を回してしまうと、ロータンクに給水できなくなる場合がありますので、必ず回さないように注意して行ってください。
もし給水できなくなった場合は、ボールタップを元の位置に戻してください。

- 取り外した給水管やパッキンなどの部品は、紛失しないように保管してください。

ロータンク下側からフレキホースが接続されている場合

◎モンキーレンチやスパナなどの工具を使用してしっかりと締め付けてください。漏水のおそれがあります。

- ①ナットを回して止水栓からフレキホースを外してください。
※給水管などに水が残っていることがありますので、止水栓の下にバケツなどの容器を置いて水を受けてください。
- ②分岐金具(付属品)のナットを回して止水栓に取り付けてください。
- ③フレキホースのナットを回して分岐金具に取り付けてください。

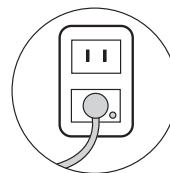


7 給水ホースの取り付け

- 便器本体に取り付けた給水ホースを分岐金具に取り付けます。
モンキーレンチやスパナなどの工具を使用してしっかりと締め付けてください。
※本製品の付属品以外の給水管を使用される場合は、必ず給水管にパッキンが付いていることを確認してください。

8 アース線の接続

- 安全のためアース線は確実に取り付けてください。
アース線を取り付けないと、故障や漏電の際に感電するおそれがあります。
アース線を取り付けるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。



警告



アース線
接続

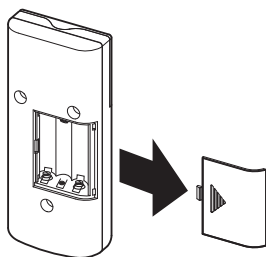
アース線は必ず取り付けてください。

- 故障や感電の原因になります。
- 必ずお買い求めの取付店・販売店、または電気工事店に相談してください。

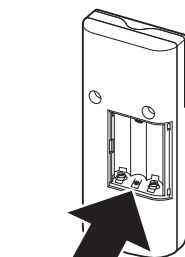
9 リモコンの取り付け (リモコンタイプのみ)

①リモコンに電池を入れる

1. 電池カバーを外す



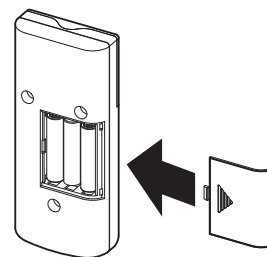
2. 電池を入れる



単4形乾電池
3本 (付属品)

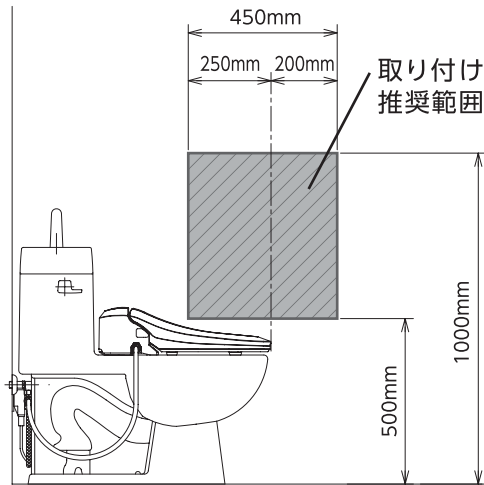
※付属の電池は動作確認用のため、電池の寿命が短い場合があります。

3. 電池カバーを取り付ける



- 同一空間に2台以上設置する場合、リモコン操作した際に他の便座が誤動作する可能性があるため、それぞれの周波数を変更する必要があります。[P.15 各機能を調整する「リモコンの周波数変更」]

②リモコンホルダーの取り付け位置を決める

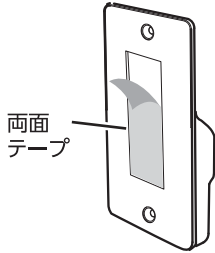
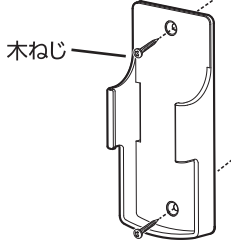
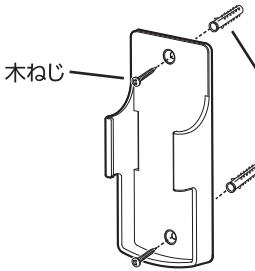


リモコンから発信される信号を正常に受信させるには、あらかじめ正しい位置にリモコンを設置する必要があります。

左図の範囲内にリモコンホルダーを取り付けることをおすすめします。

※リモコンから天井までの間に、棚などの障害物がない位置に取り付けてください。
 ※天井や床、壁が黒または濃色である場合は、リモコンから発せられる信号が受信しにくいことがあります。

③リモコンホルダーを壁面に取り付ける

接着できる壁	ネジ止めできる壁	
<p>タイルなど</p>  <p>両面テープ</p> <p>壁面の汚れをとり、付属の両面テープで貼り付ける。</p>	<p>板壁・クロスなど</p>  <p>木ねじ</p> <p>付属の木ネジ 2 本で壁に取り付ける。</p>	<p>薄い合板・石膏ボードなど</p>  <p>木ねじ</p> <p>プラスチックアンカー</p> <p>付属のプラスチックアンカーと木ネジ2本で壁に取り付ける。</p>

コンクリート壁の場合は市販のコンクリート用プラグなどで取り付けてください。

④取り付けたりモコンホルダーにリモコンを差し込む



Ⅳ 水漏れの点検

①温水タンクへの給水前に、配管接続部にゆるみがないか再確認してください。

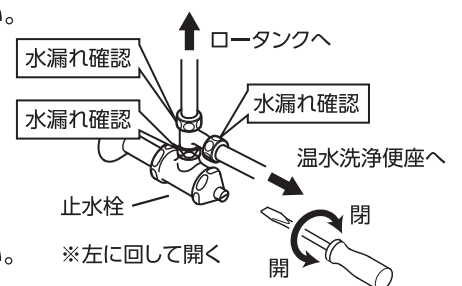
②右図を参考に止水栓をマイナスドライバーなどで開き、止水栓を閉める前と同じ水量位置に戻して調整してください。

③分岐金具や配管接続部から水漏れがないことを確認してください。

④ロータンクの水を流し、確実に給水されるか確認してください。

⑤給水管接続部からの水漏れがないことを確認してください。

※水漏れしている場合は止水栓を閉め、再施工して水漏れを防いでください。



11 電源プラグの接続

- 電源プラグをコンセントに奥までしっかり差し込んでください。

12 試運転

試運転の前に、梱包用ビニール袋を便器と便座の間に挟んで、洗淨ノズルから洗淨水が吹き出す様子を確認できるようにしてください。

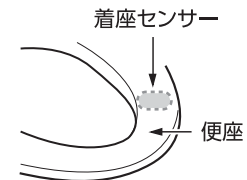
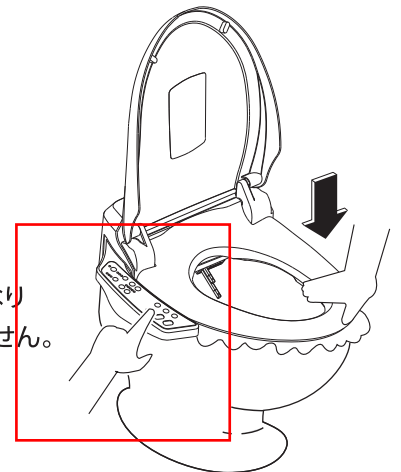
① 温水タンクへの給水

- 電源プラグを差し込むと、自動で温水タンクに給水されます。
給水中はブザー音が「ピッピッ」と鳴り、約3分程度で温水タンクが満水になり給水が止まります。※温水タンクが満水にならないと洗淨機能が正常に動きません。

② 洗淨水の確認

- 便座の着座センサー部分を手で触ります。
着座を検知すると、操作パネルの水勢ランプが点灯します。
「おしり洗淨ボタン」または「ビデ洗淨ボタン」を押して洗淨水が出ることを確認してください。
- 「停止ボタン」を押すと洗淨水が止まります。
各機能が正しく作動するかを確認してください。[P.13 ~ 15 参照]

※洗淨停止中、洗淨ノズル付近から水滴が約1~2分落ちることがあります。
これは温水タンク内の水が湧き上がったときの膨張水または洗淨ノズル内の残水によるもので、故障ではありません。



13 凍結防止について

- 試運転後に凍結のおそれがある場合は、「温水温度調節ボタン」を押して「中」または「高」に設定し、スーパー節電モードの使用や、便座本体の電源を切らないでください。
また、便座を長期間使用しない場合や、使用する頻度が少ない場合など、凍結のおそれがある場合は [P.23 凍結防止について] を参照の上、水抜きをしてください。

便座を使う(洗う・温風乾燥・止める)



リモコンタイプ
品番：UB-6035R
UB-6020R



袖付きタイプ
品番：UB-5225
UB-5210

洗う	おしり洗浄	1分間動作後、自動で止まります。 を押す。	を押す。
	ビデ洗浄	1分間動作後、自動で止まります。 を押す。	を押す。
	ムーブ洗浄	洗浄ノズルが前後に動きながら広い範囲を洗浄します。 おしり洗浄 / ビデ洗浄中に を押す。	おしり洗浄 / ビデ洗浄中に を押す。
	パワフル洗浄	洗浄・ビデ動作時に空気が吹き込まれて一般洗浄より柔らかくて強く洗浄します。 おしり洗浄 / ビデ洗浄中に を押す。	設定なし
	マッサージ洗浄	強・弱の水の勢いでリズムカルに洗浄します。 おしり洗浄 / ビデ洗浄中に を押す。	おしり洗浄 / ビデ洗浄中に を押す。
	自動洗浄	洗浄(20秒) ⇨ ムーブ洗浄(20秒) ⇨ ムーブ洗浄+マッサージ/リズム洗浄(20秒) ⇨ 乾燥(3分)の順に動作し、自動停止します。 を押す。	を押す。 ※本製品の袖付きタイプには乾燥機能はありません。
	kids洗浄	ノズル位置が一番前に、水勢が一番弱く設定され、ムーブ洗浄(1分) ⇨ 乾燥(3分)の順に動作し、自動停止します。 を押す。	を押す。 ※本製品の袖付きタイプには乾燥機能はありません。
温風乾燥	快便洗浄	水が出たり止まったりを繰り返します。(3段階) を <u>1回押す。→長い周期で洗浄</u> <u>2回押す。→短い周期で洗浄</u> <u>3回押す。→より短い周期で洗浄</u>	設定なし
	乾燥	3分間作動した後、自動で停止します。 を <u>1回押す。→温風乾燥</u> <u>2回押す。→ターボ乾燥</u>	
止める	洗浄や温風乾燥を停止します。 を押す。	を押す。	

キッズ洗浄は着座センサーにかかわらず作動するため、清掃時に誤って「キッズ洗浄ボタン」を押すと洗浄ノズルから洗浄水が吐出するのでご注意ください。誤って押した場合はただちに「停止ボタン」を押してください。

各機能の調整をする



リモコンタイプ
品番：UB-6035R
UB-6020R



袖付きタイプ
品番：UB-5225
UB-5210

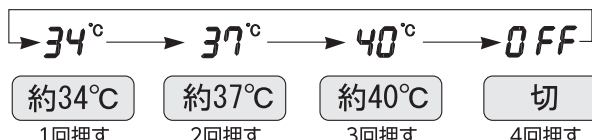
温度を調整する

温水温度

約5分後に設定した温度になります。(室温・水温によって異なります。)

温水 を押す が点滅し、設定が完了すると常時点灯

ボタンを押す毎に温度が切り替わります。(4段階)



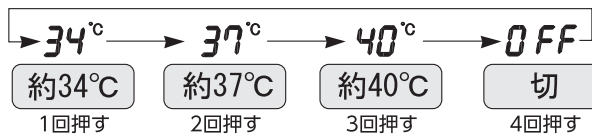
※ 温水の温度設定を「切」にした場合でも、温水の温度が5℃以下になると自動的に5℃を維持します。(凍結防止機能)

便座温度

約5分後に設定した温度になります。(室温・水温によって異なります。)

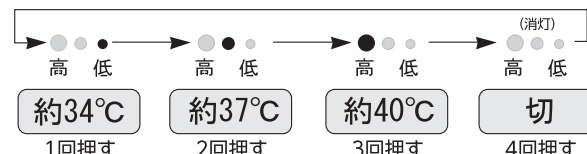
便座 を押す が点滅し、設定が完了すると常時点灯

ボタンを押す毎に温度が切り替わります。(4段階)



温水 を押す

ボタンを押す毎に温度が切り替わります。(4段階)

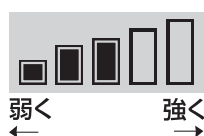


水勢を調整する

洗浄水の勢いを調節することができます。※洗浄開始時は、中間の位置で始まります。

強くする場合は……▲を押す

弱くする場合は……▼を押す



強くする場合は……強を押す

弱くする場合は……弱を押す



ノズル位置を調整する

洗浄ノズルの位置を前後に調整することができます。※洗浄開始時は、中間の位置で始まります。

前にする場合……▲を押す
後にする場合……▼を押す



前にする場合……前を押す
後にする場合……後を押す



- 洗浄水の勢いが弱い場合は、止水栓が適切な量で開かれていないか [P.11 取り付け手順 「10 水漏れの点検」]、給水口にあるストレーナー (フィルター) がゴミなどの不純物で詰まっているおそれがあります。 [P.22 定期点検]
- ノズルが正常に作動しない場合は、着座センサーが作動していることを確認してください。 [P.12 取り付け手順 「12 試運転」]
- 試運転後に凍結のおそれがある場合は、「温水温度調節ボタン」または「調節ボタン」を押して「中」または「高」に設定し、スーパースーパーモードの使用や、便座本体の電源を切らないでください。また、設置後から長期間使用しない場合や凍結のおそれがある場合は、温水タンクの水を抜いてください。 [P.23 凍結防止について]

便座を使う (洗う・温風乾燥・止める)

各機能の調整をする

リモコンタイプ 専用機能



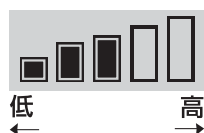
リモコンタイプ
品番：UB-6035R
UB-6020R

温度を調整する

温風乾燥の温度調整

5段階の調整が可能です。※温風乾燥の開始時は、中間の温度で始まります。

温風乾燥中に 温度を上げる場合は…… ▲ を押す
温度を下げる場合は…… ▼ を押す



時間を設定する

液晶の時計は12時間単位で表示されます。

時間調整は を1回押し 時間を進める場合は…… ▲ を押す
時間を遅らせる場合は…… ▼ を押す
分調整は さらに1回押し 分を進める場合は…… ▲ を押す
分を遅らせる場合は…… ▼ を押す

リモコンの周波数変更

同一空間に2台以上の製品が取り付けられている場合は、周波数を変更する事で通信混線による便座の誤作動を防ぎます。

リモコン本体と便座本体の周波数を変更する場合は、双方が同じ周波数である必要があります。リモコン本体と便座本体の周波数をそれぞれ変更してください。(工場出荷時はリモコン本体・便座本体ともに **00** に設定されています。)

【リモコン本体側の周波数を設定】

を3秒以上長押しします (**18:00**が点滅)

このとき ▲ ▼ を押すと **00**～**15** の間で周波数が設定できます。

周波数を決めて を押すとリモコン本体側の設定が完了します。

【便座本体側の周波数を設定】

本体の着座センサーが作動しない状態(便座に座らない状態)で、本体正面右側面の

を押して便座の電源をOFFにします。

最後に を押しながら、リモコンの を押すとすべての設定が完了します。

※リモコン本体と便座本体の周波数が異なる場合は作動しません。必ず同じ周波数に合わせて設定してください。

本体操作ボタン

おしり洗浄

1分間動作後、自動で止まります。

本体正面左側の を押す。 もう一度押すと停止。

ビデ洗浄

1分間動作後、自動で止まります。

本体正面右側の を押す。 もう一度押すと停止。

その他のはたらき

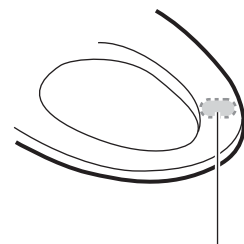
幼児が使用するときは周りの方が注意してあげてください。便器内にはまったり、指をはさんでけがをするおそれがあります。



着座センサー

本製品は着座センサーにより、着座すると人が座ったことを検知します。誤作動を起こさないように、正しく着座しなかった場合は洗浄機能が作動しません。洗浄機能を使用している途中で立ち上がったリ体を浮かしたりすると着座センサーが働き、自動的に洗浄機能が停止します。

- ※便座カバーを取り付けて使用すると、着座センサーが効かなくなる場合がありますので使用しないでください。
- ※便座のお手入れ時に着座センサーが反応する場合があります。お手入れ前は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。
- ※キッズ洗浄は着座センサーにかかわらず作動するため、洗浄時に誤って「キッズ洗浄ボタン」を押すと洗浄ノズルから洗浄水が吐出するのでご注意ください。誤って押した場合はただちに「停止ボタン」を押してください。



着座センサー

切り忘れ防止タイマー

各洗浄機能が作動してから約1分で自動的に洗浄機能が停止します。

洗浄水の温度

季節や洗浄水の水勢にもよりますが、洗浄開始から約 35 秒後に洗浄水の温度がぬるくなります。

脱臭機能（UB-6035R/UB-5225 専用機能）

便座に座ると脱臭を開始します（動作音がします）。便座から立ち上がって約1分後に脱臭が止まります。便座に座り続けた場合は、約20分後に脱臭が止まります。

使用中の音

使用中に「シュー」という音がすることがありますが、これは便座本体内の温水タンクに水が供給される際の音ですので、異常ではありません。

マイコンの初期設定

電源プラグをコンセントに差し込んでから約 10 秒間で初期設定が完了します。

水温が低いとき

冬季などの水温が低い場合、洗浄中の温水温度が低くなる場合があります。約 5 分間洗浄を停止し、温水温度が上昇してから使用してください。

水道圧が低いとき

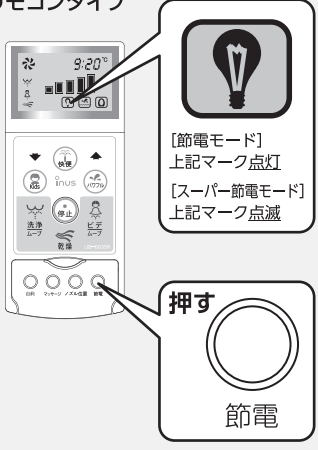
水道圧が 0.077Mpa より低いと、水勢を「強」にしても十分な水勢が得られません。十分な水勢が得られていても、他の蛇口等で水道を使うことで、水道圧が 0.077Mpa 以下となる場合があります。十分な水勢が得られないことがあります。

節電モードを設定する

節電モード／スーパー節電モード

本製品は、便座を使用しない際の無駄な電力を抑える節電機能を備えています。
洗淨水や便座を、設定の温度で維持しながら待機します。


リモコンタイプ



【節電モード】
上記マーク点灯
【スーパー節電モード】
上記マーク点滅

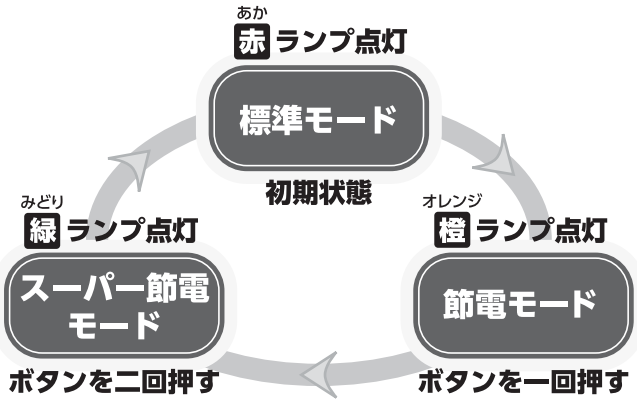
押す
節電

↓便座本体 正面右側面



動作ランプ点灯

節電機能の動作によって動作ランプの色が変わります。



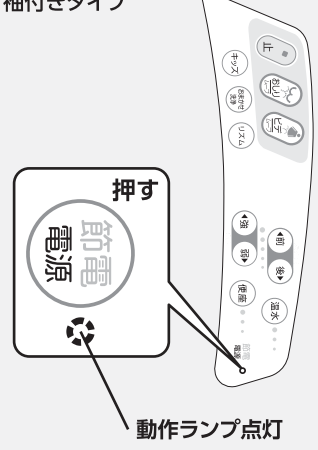
初期状態

あか ランプ点灯
標準モード

みどり ランプ点灯
スーパー節電モード
ボタンを二回押す

オレンジ ランプ点灯
節電モード
ボタンを一回押す

袖付きタイプ



押す
節電

動作ランプ点灯

標準モード	任意で設定された温度を維持しながら待機
節電モード	約 30℃を維持しながら待機
スーパー節電モード	便座及び温水温度をオフ状態にして常温待機

節電モード、スーパー節電モードの状態を着座すると、設定された温度に戻ります。

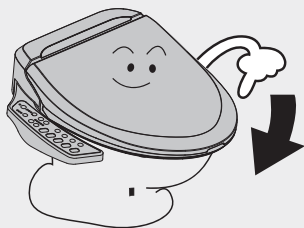
途中で停電になったら…?

停電が1秒以上続いたときや、電源ランプをコンセントから抜いたときは、節電モードの設定は解除されますので、もう一度設定しなおしてください。

上手な節電の仕方

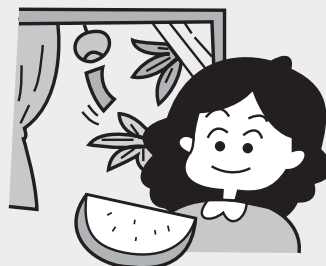
便ふたを閉じる

使用しない時は便ふたを閉じてください。
無駄な放熱を防ぎ節電になります。




夏の温度設定は低めに

夏場は洗淨水や便座の温度を低めに設定
しましょう。




便座本体の電源をオフにする方法

【リモコンタイプの場合】 UB-6035R/UB-6020R

便座本体正面右側の  を（標準モードの状態から）三回
押すと動作ランプが消灯し、電源がオフになります。

【袖付きタイプの場合】 UB-5225/UB-5210

 を長押しすると動作ランプが消灯し、電源がオフに
なります。

お手入れ方法

警告



必ず実行

お手入れが終了したら、電源プラグは、コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。



水濡れ禁止

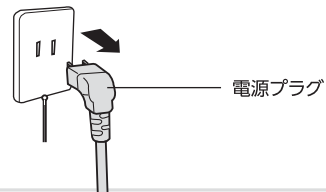
便座本体に水をかけないでください。

注意



必ず実行

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お手入れしてください。



便座本体のお手入れ方法

本体表面の汚れは、柔らかい布などに水をふくませて固く絞ってから拭いてください。汚れがひどい時は、うすめた台所用中性洗剤を使用して拭き取り、水をふくませた布をよく絞ってから洗剤を拭き取ってください。

- 洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
- クレゾール、タワシ、みがき粉などは使わないでください。変色、変形、傷つきの原因になります。
- アルカリ、酸性洗剤は便器にも使用しないでください。揮発したガスにより本体が故障、破損します。
- 給水管やその接続部に無理な力を加えないように注意してください。

ご注意ください

シンナー・ベンジン、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、トイレ用お掃除シート、殺虫剤、芳香剤、消臭剤を便座本体にかけたりしないでください。

また、便器を洗う際に、トイレ用洗剤が便座本体に絶対にかからないようにしてください。

便座本体の取り外し方

便座本体を取り外してお手入れすることができます。

① 便座本体を取り外す

便座本体を少し持ち上げ、手前に引いて取り外してください。(右図①、②)

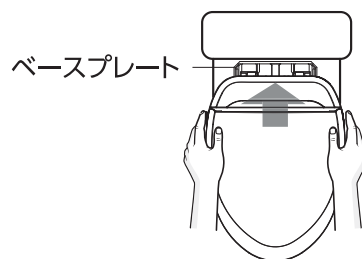
② お手入れをする

便器面を柔らかい布などで掃除してください。

※ 配管部のホースなどに無理な力がかけられないようにしてください。

③ 便座本体を取り付ける

- (1) 便座本体をベースプレートの位置に合わせてください。
- (2) ベースプレートの奥まで確実に押し込んでください。
便座を手前に引いて、固定されたかどうか確認してください。




洗浄ノズルのお手入れ方法

洗浄ノズルが汚れると、洗浄水が横に飛び散ったり、洗浄ノズルの動きが悪くなりますので、必ずお手入れをしてください。


1 洗浄ノズルを引き出す

リモコンタイプの場合【品番：UB-6035R/UB-6020R】

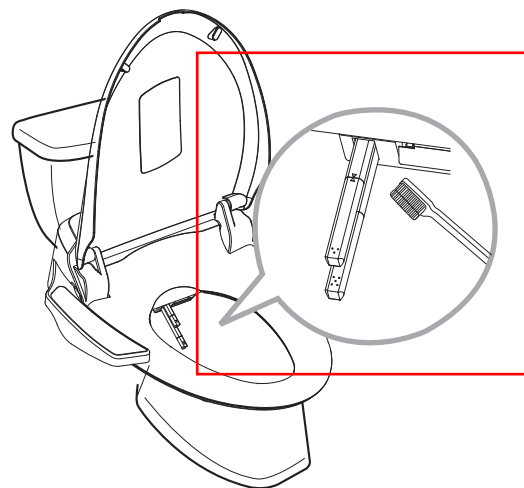
リモコンのパネルを開け  を押すとビデ洗浄ノズルが前に出てきます。もう一度押すとおしり洗浄ノズルが前に出てきます。

袖付きタイプの場合【品番：UB-5225/UB-5210】

操作部の  を押すとおしり洗浄ノズルが前に出てきます。

操作部の  を押すとビデ洗浄ノズルが前に出てきます。

※この時、便座の着座センサー部分には触れないでください。
触れると人体を検知して洗浄ノズルが出てきません。




2 汚れを落とす

洗浄ノズルをしっかりと手でつかんで、柔らかい歯ブラシまたは柔らかい布などで洗浄ノズル本体や先端の全周および先端の穴を軽くこすって汚れを落とします。

※洗浄ノズルを無理に引っ張ったり、強い力を加えないでください。

3 洗浄ノズルを元に戻す

リモコンタイプの場合【品番：UB-6035R/UB-6020R】

掃除完了後、リモコンの  を押すと洗浄ノズルが元に戻ります。

※ノズルが出たまま戻らない場合は“停止”ボタンを押して戻してください。
無理に手で戻すとノズルが故障になりますので気をつけてください。

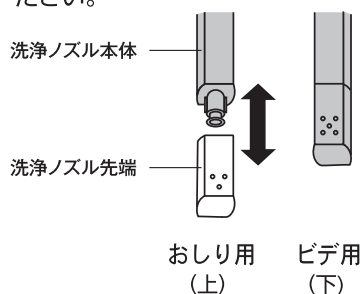
袖付きタイプの場合【品番：UB-5225/UB-5210】

掃除完了後、 を押すと洗浄ノズルが元に戻ります。

※洗浄ノズル先端は抜ける構造ですが、抜けた状態のまま戻さないようにしてください。故障の原因になります。

■ もし洗浄ノズル先端が抜けてしまったら

洗浄ノズル本体をしっかりと手でつかんで、洗浄ノズル先端を差し込んでください。おしり用とビデ用を間違いないようご注意ください。



温水タンクの水抜き方法

清掃などで便座を着脱する場合や、長期間使用しない場合は温水タンクの水抜きをして沈殿物を排出してください。

洗浄ノズルの穴が詰まる原因になります。(3ヶ月に1回程度)



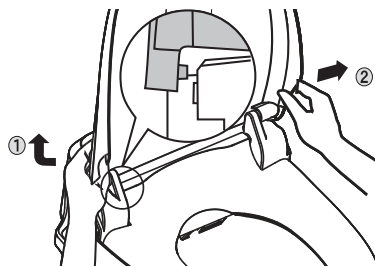
水抜き方法
23ページ

便ふたの取り外し方

便ふたを取り外してお手入れすることができます。

① 便ふたを取り外す

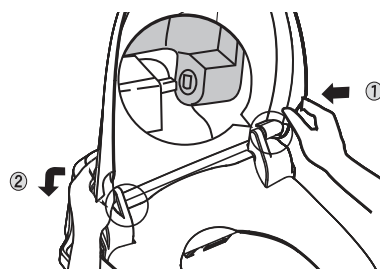
- (1) 便ふたの左軸を広げながら持ち上げてください。(右図①)
- (2) 右軸を外してください。(右図②)
※指を挟まないように注意してください。



② お手入れをする

③ 便ふたを取り付ける

- (1) 外した状態と同じ角度で、右軸を先に取り付けてください。(右図①)
- (2) 左軸を取り付けてください。(右図②)

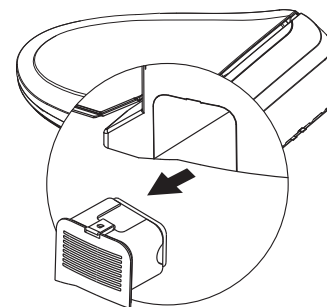


脱臭カートリッジ (UB-6035R/UB-5225 のみ)

- 脱臭カートリッジのフィルターのほこりを歯ブラシなどで取り除いてください。(1ヶ月に1回程度)
- 脱臭カートリッジにほこりがつくとファンの音が大きくなります。
- 脱臭カートリッジは水洗いしないでください。
- 脱臭カートリッジの寿命は約7年です。

※脱臭カートリッジは消耗部品です。交換に要する費用は保障対象外となります。

※脱臭カートリッジの購入は、お買い求めの取扱店・販売店、またはアサヒ衛陶(株)お客様サービスセンターにお問い合わせください。



矢印の方向に引き抜く

お手入れ方法

日常点検

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検を行なってください。
次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

電源コードを動かすと、電源ランプが付いたり消えたりする。

電源コードの一部が普段より熱くなっていたり、電源コードや電源プラグ部分に変形や変色、損傷がある。

異音や異臭がする。

製品が異常に熱い。

製品にひび割れが入っている。

すぐに使用を中止して電源プラグを抜き、お買い求めの取付店または販売店にご連絡ください。

自己診断機能について

本製品には自己診断機能がついています。
製品に以下のような異常が発生すると表示ランプの点滅により異常をお知らせします。

表示ランプ		考えられる異常の原因	処置
リモコンタイプ	袖付きタイプ		
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:6回)	温水 * ● ● 温水「高」点滅	温水温度センサーショート	ランプが点滅したときはすぐに使用を中止して電源プラグを抜き、お買い求めの取付店または販売店にご連絡ください。その際は、表示されている状態をお伝えください。
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:5回)	温水 ● * ● 温水「中」点滅	温水サーミスター異常	
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:4回)	温水 ● ● * 温水「低」点滅	温水温度センサー断線	
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:3回)	便座 * ● ● 便座「高」点滅	便座温度センサーショート	
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:2回)	便座 ● * ● 便座「中」点滅	便座サーミスター異常	
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:1回)	便座 ● ● ● * 便座「低」点滅	便座温度センサー断線	
 本体正面右側LED点滅 (点滅回数:8回)	 水勢「1」点滅	給水できない	

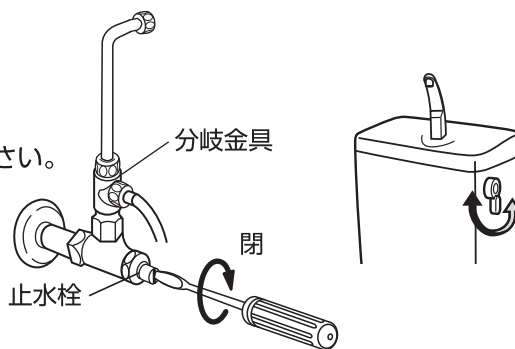
定期点検

ストレーナー（フィルター）のお手入れについて

ストレーナー（フィルター）（以下「ストレーナー」）とは、給水された水を“ろ過”するための部品で、給水管の入り口に取り付けられています。このストレーナーが詰まると洗浄水の水勢が弱くなり、十分な性能が得られません。以下の要領に従って、定期的にお手入れされることをお勧めします。

① 止水栓を閉める

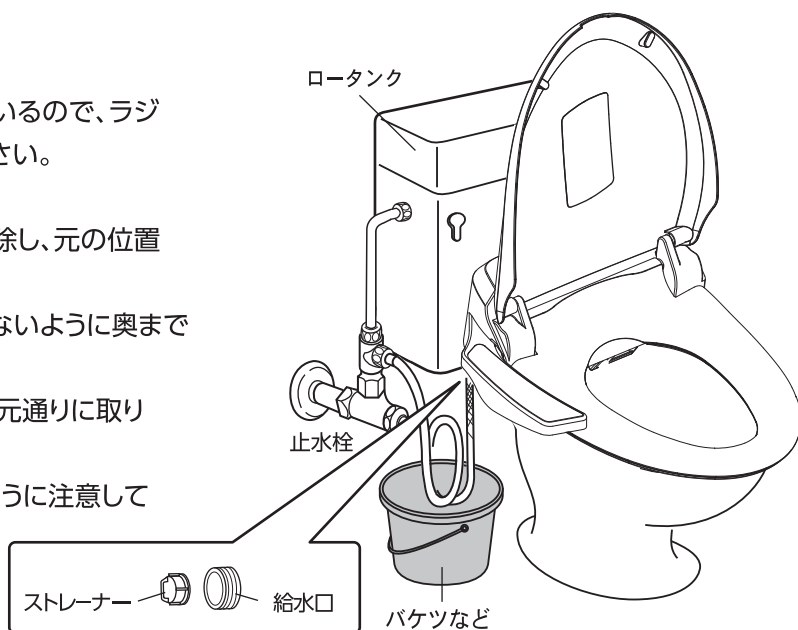
マイナスドライバーなどで止水栓を右に回し、給水を止めてください。
※ロータンクの洗浄レバーを回して、水が流れないことを確認してください。



② ストレーナーを掃除する

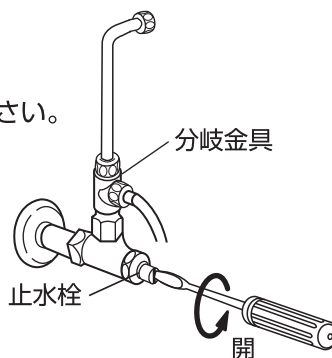
給水管接続部の下にバケツなどの容器を置きます。

- ① 給水ホースを取り外す。
- ② 給水口からストレーナーを取り外す。
給水口の中にストレーナーが内蔵されているので、ラジオペンチなどでつまんで取り外してください。
- ③ ストレーナーを掃除する。
水洗いしながら歯ブラシなどを使って掃除し、元の位置に戻します。
※ストレーナーの取り付け方向を間違えないように奥まで差し込んでください。
- ④ 給水管接続部の金具、給水ホースの順に元通りに取り付けてください。
※給水ホースに無理な力が掛からないように注意して取り付けてください。



③ 止水栓を開ける

マイナスドライバーなどで止水栓を左に回し、元の位置まで開いてください。
※給水管接続部から水が漏れていないか確認してください。



凍結防止について

凍結のおそれがある場合

寒冷地域でトイレの室温0℃以下になるおそれがある場合や長期間使用しない場合は、安全のために電源プラグを抜いて温水タンクの水抜きをしてください。

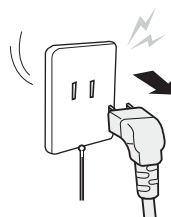
- 暖房器具で室内を暖めてください。
 - ※ 暖房器具の注意書きに従って使用してください。
 - ※ 暖房器具の熱源を近づけると便座本体が変形するおそれがありますのでご注意ください。
- 配管部は市販の凍結防止用テープヒーターを取り付けてください。
 - ※ 室内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。



水抜きの方法

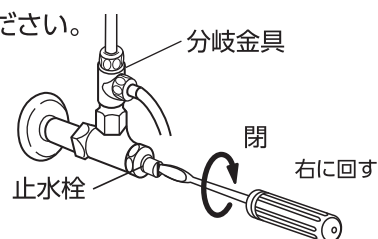
1 コンセントから電源プラグを抜く

※火災の原因になります。



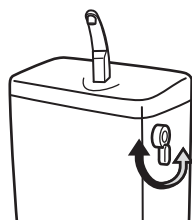
2 止水栓を閉める

マイナスドライバーなどで止水栓を右に回し、給水を止めてください。



3 給水しないことを確認する

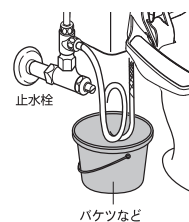
ロータンの洗浄レバーを回して、水が流れないことを確認してください。



4 給水管の水を抜く

便座の給水管接続部から給水ホースを取り外し、給水管の水を抜きます。

※バケツなどの容器を接続部の下に置き、水を受けてください。

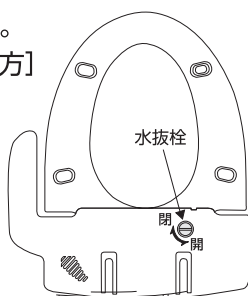


5 便座を取り外し、水抜きをする

便座を取り外してください。

[P.18 便座本体の取り外し方]

底面に付いている水抜き栓のネジを硬貨などで「開」方向に回して取り外し、温水タンク内の水抜きをしてください。



6 水抜き栓を閉め、便座を設置する

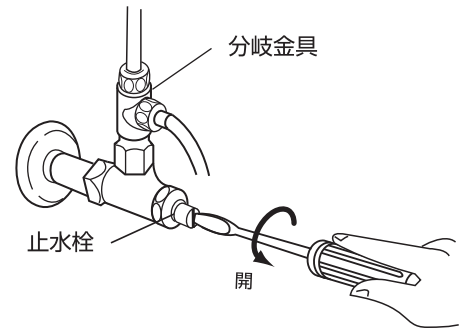
水抜き後、水抜き栓のネジを硬貨などで押しこみながら「閉」方向に回して、水抜き栓を締めつけてください。

4で取り外した給水ホースを再び取り付けて、便座を便器に設置してください。

水抜き後の再通水の方法

❶ 止水栓を開ける

マイナスドライバーなどで止水栓を左に回し、元の位置まで開いてください。
水抜き栓や給水管接続部から水が漏れていないか確認してください。

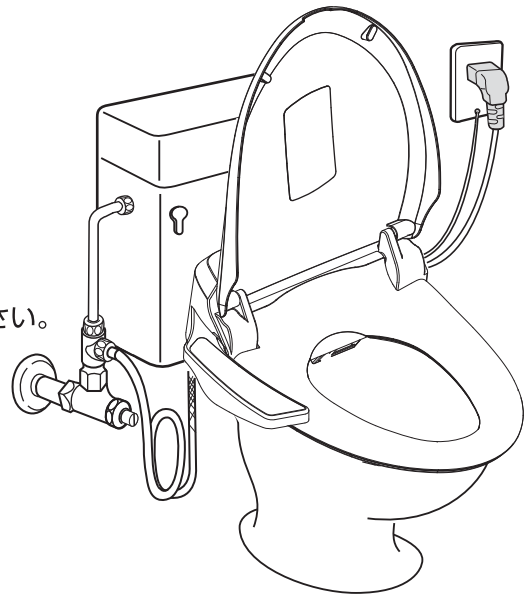


❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

動作ランプの点灯を確認してください。

❸ 再通水する

電源プラグを差し込むと、自動で温水タンクに給水されます。
給水中はブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
※水抜き栓や給水管接続部から水が漏れていないか確認してください。




■ 万が一、凍結してしまったら・・・

温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水管接続部を温めてゆっくり解凍するか、
または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

※給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。給水ホースが破損するおそれがあります。

故障かな?と思ったら

万が一、故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼する前に次のことをご確認ください。

症状	確認するところ	処置
電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに奥まで差し込む
洗浄ノズルから水が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 水道が断水していませんか 止水栓が閉まっていますか 便座に正しく座っていますか 便座カバーがついていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 通水されるまで待つ 止水栓を開く [P.11 取り付け手順「水漏れの点検」] 便座に正しく座って使用する [P.16 その他の機能「着座センサー」] 便座カバーを取り外して使用する
水勢が弱い	<ul style="list-style-type: none"> 止水栓が十分に開かれていますか 水圧が普段より低くなっていますか <0.077Mpa> 給水口のストレーナー(フィルター)が詰まっていますか 	<ul style="list-style-type: none"> 止水栓を開く 他の水道との同時使用をなるべく避ける ストレーナーを掃除する [P.22 定期点検]
暖房便座がぬるい・冷たい	<ul style="list-style-type: none"> 便座温度が適当な温度に調節されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 便座温度を上げる [P.14 各機能の調整をする]
洗浄水がぬるい・冷たい	<ul style="list-style-type: none"> 温水温度が適当な温度に調節されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 温水温度を上げる [P.14 各機能の調整をする]
便座本体がぐらつく	<ul style="list-style-type: none"> 取付ボルトのナットがゆるんでいますか 便座本体がベースプレートから外れていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> ナットを締める [P.8 取り付け手順「便座本体の取り付け」] ベースプレートの奥まで確実に差し込む [P.8 取り付け手順「便座本体の取り付け」]
洗浄ノズルの動きが悪い 洗浄ノズルが戻らない	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄ノズルが汚れていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 洗浄ノズルをお手入れする [P.19 お手入れ方法「洗浄ノズルのお手入れ方法」]
温水温度表示ランプや便座温度表示ランプ、または動作ランプが点滅する	_____	<ul style="list-style-type: none"> 修理を依頼してください [P.29 アフターサービスについて]
洗浄ノズル付近から水滴が落ちている (洗浄停止後、1~2分程度)	<ul style="list-style-type: none"> 温水タンク内の水の加熱蒸気圧または洗浄ノズル内の残水によるもので故障ではありません 	<ul style="list-style-type: none"> 長時間水滴が止まらない場合は電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください [P.29 アフターサービスについて]

上記のことをご確認いただき、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの取付店・販売店にご連絡ください。

仕 様

品 番		UB-6035R	UB-6020R	UB-5225	UB-5210
定格電源・定格消費電力		交流 100V (50/60Hz共用) ・ 660W			
年間消費電力量		159kWh (220kWh) ※1			
省エネ区分		貯湯式			
外形寸法		幅396mmX奥行520mmX高さ143mm		幅466mmX奥行520mmX高さ143mm	
質量(便座本体のみ)		約4.3kg		約4.2kg	
電源コード		1.2m			
使用可能水道圧範囲		0.078Mpa (流動時) ~ 0.735Mpa (静止時) ※2			
温水洗浄	洗浄ノズル	ツインノズル・セルフクリーニング機能付			
	洗浄吐水量	0.72~1.08L/分			
	ビデ吐水量	0.72~1.08L/分			
	水勢調節	5段階調節			
	温水タンク	0.8L			
	温水ヒーター	600W			
	温度制御	マイコン制御、3段階調節(約34/37/40℃)及びヒーター「切」			
	安全装置	温度ヒューズ、サーモスタット、水位センサー、温度検知センサー			
暖房便座	便座ヒーター	50W			
	温度制御	マイコン制御、3段階調節(約34/37/40℃)及びヒーター「切」			
	安全装置	温度ヒューズ、温度検知センサー			
脱臭機能	脱臭方式	触媒脱臭	—	触媒脱臭	—
	運転制御	マイコン制御	—	マイコン制御	—
乾燥機能	温度調節	常温~60℃		—	
	ヒーター容量	250W		—	
	運転制御	マイコン制御		—	
その他の安全装置		温度ヒューズ、バイメタル			

※1 省エネ法(2012年度基準)に基づいて、便座サイズや湯沸し方式等の種類別の算定式により、4人家族(男性2人・女性2人)で1日あたりおしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算定しております。()内は節電機能を使用しない場合の年間消費電力量となります。

※2 使用可能水道圧範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。

※ この製品は、日本国内向け仕様です。海外での使用はおやめください。

故障かな?と思ったら

仕様

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は 電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したまま使わないで
ください。

火災や感電、室内浸水の原因
になります。
異常に気づいたら、すぐに電源
プラグを抜き、止水栓を閉めて
ご使用を中止し、販売店または
メーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめ
します。

安心してご使用いただくため、定期
的な点検をおすすめします。
また、長期間(10年以上)ご使用の
温水洗浄便座は買い替えをご検討
ください。使い勝手、機能性、省エネ
性能も向上しています。販売店また
はメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけ
ないでください。故障や火災の原
因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わ
ないでください。内部の電気部品
や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除い
てください。トラッキング*現象
で火災の原因になります。

※トラッキングとは…電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック(電気の道)ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、
直ちにご連絡ください。

便座・便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用
を続けると、火災や感電の原因となります。

- 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外
れていませんか？
- 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこん
だりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、
火災や感電の原因となります。

- 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこん
だりしていませんか？
- 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、
火災や感電、室内浸水の原因となります。

- 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

安心・安全
に使ってね！



一般社団法人 温水洗浄便座工業会

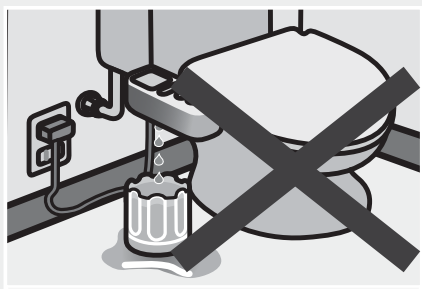
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18

後援 経済産業省

<http://www.sanitary-net.com>

水漏れしていませんか？

水漏れしている状態で使用しないでください！

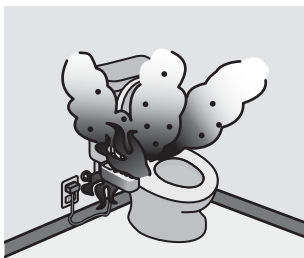


- ①すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
- ②ご使用を中止し、販売店またはメーカーへご連絡ください。

水漏れしたまま使用すると大変危険です！

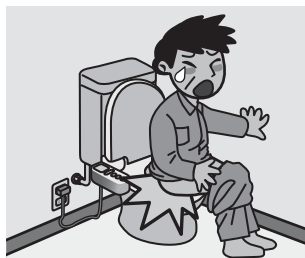
突然、以下のような状態になる恐れがあります。

発煙・発火



電気部品に水がかかって製品から火が出る場合があります。

ヤケド



電気部品に水がかかって誤動作し、熱いお湯が出る場合があります。

感電・漏電



電気部品に水がかかって漏電し、感電する場合があります。

階下漏水



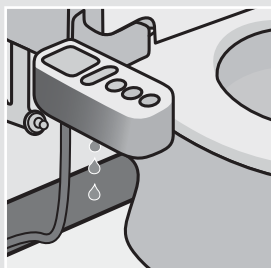
水漏れが継続し、階下へ浸水する場合があります。

温水洗浄便座は「水」と「電気」を使う電気製品です。

長年のご使用で部品が劣化し、製品から水漏れすることがあります。

「便器を伝う水漏れ」、「使うときだけ少量の水漏れ」などがなければ定期的に点検してください。

水漏れがある場合は、販売店またはメーカーに点検を依頼してください（有料）。



製品から漏れている水が少量であっても、製品内部では多量の水が漏れている場合があります。

発行元 一般社団法人
温水洗浄便座工業会

〒461-0002 名古屋市東区代官町 39-18
<http://www.sanitary-net.com/>

TEL(052)935-7983
受付時間 平日 9:00 ~ 17:00

後援 経済産業省 協賛

一般社団法人
リビングアメニティ協会

一般社団法人
日本衛生設備機器工業会

PS-HBD1001

アフターサービスについて

1. 保証書と保証期間

保証書は、取付店・販売店で所定事項を記入の上お渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、ご購入日から1年間です。

保証期間内でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

2. 部品の交換について

無償修理により交換された部品・製品は、販売店の所有となります。

3. 保証期間中に修理を依頼されるとき

もう一度説明書をよくお読みいただき、それでもなお異常のあるときはお買い求めの取付店・販売店に修理をご依頼ください。

※修理に際しては保証書が必要となります。保証書の規定に従って修理をさせていただきます。

• 連絡していただきたい内容

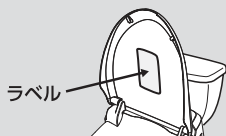
①住所、氏名、電話番号

②商品名

③品番

例) UB-5210

便ふた内側のラベル右上に表示しています。



④購入日が記載された保証書

⑤故障内容、異常の状況

できるだけ詳しくご説明ください

⑥訪問希望日

■ 保証期間が過ぎているとき

修理をすることで使用できる商品については、ご希望により有償にて修理をさせていただきます。

■ 修理代金

技術料 + **部品代** + **出張料** で構成されています。

MEMO

保証書

温水洗浄便座

保証期間	品番	保証期間(ご購入後)
	UB-6035R/UB-6020R/UB-5225/UB-5210	1 力 年
ご購入日	平成 年 月 日	
お客様	ご住所:	
	お名前: 電話:	

お取扱店	住所:	
	店名: 電話:	

上欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ず記入の有無を確認してください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書にしたがった使用状態で、保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。

- 保証期間内に修理を依頼される場合は、お買い求めの取付店・販売店、にお申し付けください。
- 出張修理に際しては本書をご提示ください。

2. 保証期間内でも、次の場合には原則として有料修理になります。

- 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造、分解、破壊行為による故障および損傷。
- お取付後の移設・輸送・落下などに起因する故障および損傷。
- 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
- ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、それらの死骸の製品内への残留による不具合。
- 火災・地震・水害・落雷・温凍害・その他天災地災および公害・塩害・ガス害(硫化水素ガス等)・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)等による故障および損傷。
- 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
- 正しく施工されなかったことで生じた不具合。
- 消耗品類(パッキンや脱臭カートリッジ、乾電池など)の経年劣化や摩耗劣化による不具合。
- 指定以外の水質(水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水)の給水時における異物の詰まりなどによる故障および損傷。
- 汚れなど通常のお手入れ不足による不具合。
- 車輛・船舶などの移動体への搭載に使用された場合の故障および損傷。
- 駅や商業施設など使用回数の多い場所に設置された場合による故障および損傷。
- ゴミかみや水あか固着による不具合。
- 本書の提示がない場合。
- 本書にご購入日・お客様名・店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

4. 本書は、再発行致しませんので大切に保管してください。

* 本書は、明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、にお問い合わせください。